


今年度発刊の文芸誌「三潮」第46号の記事が
東奥日報社(2022年12月22日付)に掲載されました。



高森さん特別寄稿
「三潮」第46号発行
県教育厚生会

県教育厚生会(渡部秀逸
理事長)は、文芸誌「三潮」
第46号「写真」を発行し
た。現職・退職を問わず教
職関係者から募った短歌や
俳句、川柳といった短詩文
芸、詩、小説、随想などを
掲載。230ページにわたって、
幅広い創作活動の成果を披
露している。

三戸町在住の作家高森美
由紀さんは「読書と執筆」
を特別寄稿。図書館に勤務
しながら「モノカキ」とし
て創作活動を続ける著者
が、読書に対する自身の流
儀を披露。さらに、先輩作
家の助言から「物事を咀嚼
して自分の中に取り込んで
から書き出す」「地元を描
き、方言を使う」ことを心
がけていることをつづる。

「旅」のテ
ーマ投稿には
23人が俳句や
短歌、狂歌、
川柳で作品を
寄せた。この
ほか、随想に
は三浦榮一さ
んの「比島の友情を深めて
カモテ会慰霊同行記」、
紀行・ルポルタージュに成
田滋彦さんの「南の島で世
界遺産(縄文遺跡群)のヒ
ントをえた」、自伝・評伝
に鎌田徹郎さんの「ソフト
バレエボールの素 誕生秘
話」、小説は小山田良三さ
んの「しかしそうして」前
編」などを収録。本年度
の県高校文化連盟文芸部の
入賞作品も載せた。

三潮は年1回、毎年12月
に発行。退職・現職の教員
10人が編集委員を務め、半
年かけて完成させている。
頒価千円。問い合わせは県
教育厚生会(電話017・
721・1310)へ。
(山崎光弘)

※この画像(記事)は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾
したものです。